

千代田図書館

千代田区立
千代田図書館
情報誌

さ	あ	◆◆◆◆
図	書	館
い	こ	う。

vol.5

神保町の中心にある「本と街の案内所」で
図書館コンシェルジュが街の案内をしています。
まずは古書店を探しに、ふらり。
そして再び、出会った古本にぴったりの喫茶店を
探しにお立ち寄りください。
神保町がますます居心地のよい街になりますよ。

千代田区の耳より情報満載

「コンシェルジュブース」特集

コンシェルジュがゆく

こだわりのショップを紹介

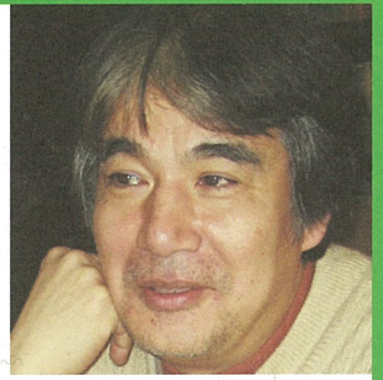
日用「逸」品編

表紙 小川 哲

千代田探し

さまざまな分野で活躍中の
“千代田人”に聞きました

中野書店 2代目 **中野智之** さん



中野書店2代目 **中野智之**

1954年生まれ。中野書店2代目。
前・神田古書店連盟会長

写真提供:ナビプラ神保町

中野さんは神田古書店連盟の前会長で、「としょかんのこしょてん」をはじめとする、千代田図書館のイベントをサポートしてくださっています。様々な分野に造詣が深く、神田古書店連盟内では頼りになる兄貴分のような存在です。

今回は、有名な老舗喫茶店の多い神保町と関連づけて、日本最初の喫茶店について書かれた文献をご紹介します。

「人生の可否」

本、珈琲、煙草。むろん後ろの二つは図書館ではご法度ですね。昨今は煙草のせいで居場所が限られてしまい少々窮屈していますが、私の中ではやはり三点セット。好きな本を片手に珈琲を啜りながら、ときおり煙をくゆらす、わが陋屋のコタツの中でも、瀟洒なりゾートホテルのテラスに居ても（←嘘つけ）、これに優る時間はそうそう思いつきません。ですので神保町では、素晴らしい千代田図書館に背をむけ、ふらふらと喫茶店に足を運んでしまう。おっとごめんささい。

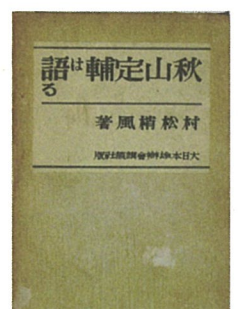
さて、喫茶店といえば神保町周辺も新旧様々なお店で賑わっていますが、日本最初の喫茶店ってご存知ですか？ 商売柄つい本の話題になってしまいますが、『秋山定輔は語る』（村松梢風編 昭13）という古い伝記があります。実はこれこそ知る人ぞ知る貴重な喫茶店文献。時々安く掘り出せることもあります。秋山定輔は岡山生れの政治家で二六新報社主。二六新報は紙面の面白さで人気があった新聞でした。定輔自身も衆院議員時代、日露戦争のさなかにロシアのスパイと疑われて議員を辞職したり、孫文の革命を応援したりと、なかなか面白い人物です。けれども本書で最も興味をひかれるのは「鄭先生のこと」「再び鄭先生のこと」の二章。これは秋山の恩師、鄭永慶の生涯に触れた数少ない文章で、成功者とは言えない人なので資料はほとんどありま

せんが、この鄭永慶こそ、わが国最初の喫茶店「可否茶館」を開業した人物です。

時は鹿鳴館時代。しかし鹿鳴館なんて庶民にとっては雲の上の世界でした。永慶さんは中国人ですが先祖代々長崎通詞の家柄で、ニューヨークのエル大学に留学したエリート。当初は後進のために学校を運営する心づもりだったようですが、当時のエセ欧化主義に反感を感じたのでしょう、庶民のための文化サロン、「喫茶店」を開こうと決意します。未来を担う若い世代が、ここで議論を交わしたり情報を交換したりするのを願っていたのでしょう。明治21年のことでした。

この可否茶館、ビリヤード等の遊具を揃え、更衣室やシャワーも完備。内外の新聞雑誌を置いた図書室やギャラリーもあったと聞きます。しかし経営は思うようにはいかず、秋山の言葉を借りれば「思いつきは良かったけれどもまだ時勢が少し早すぎた。やってみると月々の赤字である。こんなことから、やはりあのとき学校にした方がよかったと考えても、今さら急にコーヒー屋を学校に変えるわけにもいかない。損をつづけながら経営していた」そうです。結局可否茶館は経営不振で人手に渡り、財産を失った永慶さんは逃避行。シアトルで皿洗いをしながら生涯を終えました。

コーヒーを可否とはよくいったもの。人生の可否は時勢や運不運が絡み合い、なかなか思い通りにはいきません。理想を追った永慶さんの生涯は爽やかな香りとともに、ほろ苦い可否の味がします。



『秋山定輔は語る』
（村松梢風編 昭13）



「コンシェルジュブース」活用術!

千代田図書館9階の「コンシェルジュブース」をご利用になったことはありますか? 遠目に見たことはあるけれど立ち寄ったことはない、という方も多いのではないのでしょうか。ブースに常駐する「図書館コンシェルジュ」は皆さんと図書館をつなぐ存在として、図書館の総合案内だけでなく、館内設備や利用方法を説明する「図書館ガイドツアー」を行っています。また、皆さんと千代田区をつなぐ窓口として、古書店や飲食店をはじめとする街案内を行うほか、神保町にある「本と街の案内所」に出張しての街案内も行っています。今回は、図書館内の情報だけでなく、千代田区の街情報もたくさん収集できる、「コンシェルジュブース」を徹底的にご紹介します。



左/合服(10~5月)
右/夏服(6~9月)



コンシェルジュのいる時間帯

平日	10:00~20:00
土曜	10:00~19:00
日・祝	10:00~17:00

※ガイドツアーや案内のため不在の場合がございます。

図書館コンシェルジュに聞いてみよう!

<図書館ガイドツアー(約20分)>

千代田図書館のコンセプトとともに、館内設備、利用方法、千代田Web図書館の使い方について館内を一緒に巡りながらご説明します。(随時受付)

<新品図書購入のお手伝い>

図書館で読んで気に入った本、所蔵のない本など、すぐに手元に欲しい本の購入をお手伝いします。

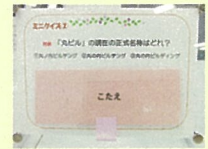
<古書店の案内>

版元がない古い本や絶版本などはいくつかの古書店データベースを使って検索します。お探しの本が明確でない場合や、興味のある分野の古書店巡りをしたい場合もご相談ください。

コンシェルジュブース上には、千代田区の情報が満載!

千代田区の街案内コーナー

季節や旬の話題に合わせて、約1ヶ月半毎に特集を組み、文化施設やイベント情報などをファイル形式でご紹介しています。また、千代田区にまつわるクイズや、各種チラシ、パンフレット、割引券などを展示しています。



図書館コンシェルジュのおすすめ

おすすめの飲食店を月に1店舗ずつご紹介しています。老舗や有名店、新しくオープンした店などの中から、コンシェルジュが足を運んで気に入った店を取り上げています。



黄色の飲食店ファイル

「カフェ」「カレー」「イタリアン&フレンチ」「蕎麦」の4種類のファイルがあり、店に行ってみよう方には地図を差し上げています。行かれた方は、ぜひ感想をお聞かせください。



おすすめ本コーナー

2ヶ月毎に季節や旬の話題に合わせたテーマで、コンシェルジュおすすめの20冊を展示しています。貸し出しもできますので、お手にとってご覧ください。



円柱の棚

図書館のイベント情報のほか、地域を紹介する小冊子やチラシなどを設置していますので、ご自由にお持ち帰りください。



おりがみ飾り

季節ごとに様々なモチーフを手作りして、ブースに四季の彩りを添えています。よく見ると、なかなか凝った作りになっているんですよ。作り方は館内所蔵の本を手本にしています。



千代田図書館 8~9月のイベント	
8月25日(火)	人文連続セミナー 19:30-20:30 「本を運ぶときのポイント」 ※参加費なし 出版社を巡る
8月26日(水)	夏のわくわく園外授業 18:30-20:30 10歳未満 申し込み不要で参加可 ※申し込み後参加費5,500円
9月7日(月)	読も自分も癒く 12:00-20:00 ～BOOKS&CAFE Library～ ※夏の間は無料のドリンクサービス
9月9日(水)	企画展示開演講演会 12:00-20:30 「参加型文化工作展展覧会」 ※参加費なし

8月は
大輪のひまわり

千代田区がゆく 日常逸品編

図書館コンシェルジュは、皆さまにより図書館に親しんでいただけるよう、館内の総合案内だけでなく、千代田区の街案内も行っています。館内の見どころや利用方法をご説明するガイドツアー、近隣の飲食店・イベント情報なども好評。このコーナーでは、図書館コンシェルジュが区内で見つけたおすすめのご紹介をします。

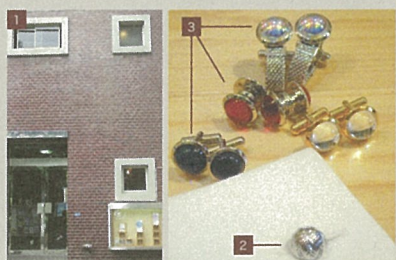
今回は、毎月第1月曜日に開催している「靴磨きイベント」にちなみ、皆さまのビジネスシーンに応援するアイテムやサービスをご紹介します。毎日使うものだからこそ、こだわりの逸品を持ち、手入れをしながら長く付き合っていきたいものです。



1 カフショップ (カフリンクス専門店)

住所 九段北1-2-1 電話 03-5215-1150
HP <http://www.cuffshop.com/>
営業 12:00~19:00(土~17:00) / 日・月・祝休

カフリンクス(カフスポタン)は男性用のお洒落アイテムだと思われてきましたが、女性の購入者も多いそうです。布、刺繍、石、金属など様々な素材や形、色も豊富なオリジナル製品の他に、舶来品を含むヴィンテージ品もあります。アクセサリというよりもむしろジュエリーの域。オーダーもできるので、記念品や贈り物にもよさそう。内容充実のホームページでは、カフリンクスが登場する本の紹介などの関連情報もあるので一度アクセスしてみてください。

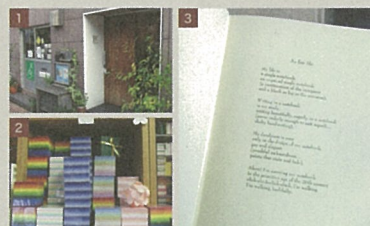


1.九段下駅5番出口すぐのスターバックスコーヒーと同じビルFに入っています。2.(写真手前)シンプルなシルバー・カーは初心者でも取り入れやすい。3.(写真奥)クリスタルをはめこんだ定番商品は金具を折りたたむタイプと、スナップボタンタイプがあります。

2 美簗堂 (製本・文具用品店・工房・ギャラリー)

住所 外神田2-1-2 電話 03-3258-8181
HP <http://www.misuzudo-b.com/>
営業 11:00~19:00(土日祝~18:00) / 日休

長野県美簗に工房をもち、手製本にこだわり、特製本・和本などの受注に対応。オリジナルの文房具類も手掛けているので、製本を頼む機会はなくてもその職人技を身近に感じることが出来ます。中でも人気の商品はノートやメモ類。ノートは万年筆も鉛筆も気持ち良くすべり、とても書きやすいです。虹色のグラデーションが美しいブロックメモは、紙がしっかりしているのでコースターやカードとしても使えます。ネット通販でもできますが、ぜひお店で手にとって、職人さんの素晴らしい仕事に触れてください。



1.左がショップ。右がギャラリーで、10/6~18は「楽しい文庫本」多田進装丁展を開催。2階の工房では製本ワークショップを定期開催。2.色とりどりのブロックメモ。3.「コトノハノート」¥2,205 / 最初と最後のページに谷川俊太郎氏の詩が活版印刷された上製本ノートで、美簗堂の思いと夢が詰まった新製品。

3 時空間 (時計修理店)

住所 九段南1-4-2 電話 03-3263-4370
営業 11:00~17:00 / 月・木・日休
料金 その都度見積もり

一級時計修理技能士の資格を持つ、この道25年の池田さんが、腕時計・掛け時計・懐中時計など時計ならなんでも、日本製・海外製を問わず対応してくれます。古い時計になるほど必要な部品が手に入りやすく、独自のルートを使って入手できない場合は、「0コマ何ミリ」という非常に細かい部品でさえも池田さんが作ってしまいます!なので、メーカーに掛け合っても「製造中止につき修理不可」とされた時計が息を吹き返すこともあります。店は池田さんお一人なので、来店する際には事前に電話を入れておくことと確実です。



1.店の建物は昭和4年築の趣ある木造家屋。2.時間のズレ等を測定する機械。3.細かい部品を作るには顕微鏡が必須。

4 金ペン堂 (万年筆専門店)

住所 神田神保町1-4 電話 03-3293-8186
営業 12:00~18:00 / 日・祭・水休

大正9年創業。1,000円台~100万円超の万年筆を販売しています。万年筆の一番の特徴は、書くのに力を要しないことで、たくさん書いても「ペンだこ」ができません。逆に長期間使わずにいるとインクが固まって万年筆がダメになってしまうので、使い始めたら毎日でも使うようにすることが大事だそうです。この店では初心者でも安心して使い始められるよう、購入時に上手な使い方や手入れの仕方を教えてください。アフターケアにも対応(他店購入品の修理は不可)。この店を扇風機にしている作家さんも多く、中でも井上ひさし氏は1作品書くのに1本購入されるそうです。



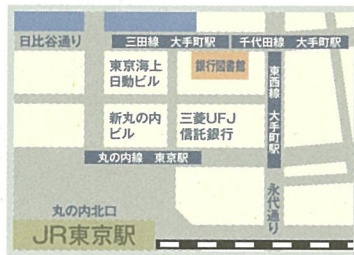
1.万年筆がズラリと並び店内は荘厳です。2.この店の万年筆で書かれた作品集。3.リリー・フランキー氏も愛用の「ペリカン社スーパーM800(¥52,500)」。4.初心者におすすめ「ウォーターマン社メトロポリタン(¥11,550)」。5.「LAMY社サファリア(¥3,990)」など5,000円以下の商品もあります。

銀行図書館

- 対象 銀行・金融関係の調査研究を目的とする方
- 住所 丸の内1-3-1銀行会館7階
- 交通 大手町駅C15出口より歩1分
- 時間 9:30~16:30
- 休み 土・日、国民の休日、銀行の休業日、月末の金曜日
- 閲覧 無料
- 貸出 一般の方は不可
- 資料 約16万点(開架3割・閉架7割)
- 雑誌 約650タイトル
- 席数 17席
- 問合せ 03-5252-3787
- URL www.zenginkyo.or.jp/library/



(右)金融・財政専門誌などの雑誌が充実



銀行図書館
市政専門図書館
世界銀行情報センター

千代田区の図書館紹介

今回ご紹介する専門図書館は、ビジネスにはもちろん、プライベートにも役立つ資料の宝庫です。関係者や研究者だけでなく、一般にも公開されているので、利用できる日時をチェックして上手に活用すれば、さらに充実した調査や研究ができるでしょう。

東京市(現・東京都)第7代市長の後藤新平氏が創設した東京市政調査会の付設機関として大正11年に誕生し、都市問題・地方自治関係の資料を所蔵しています。“都市”という分野が広範囲にわたるため、様々な視点からの調査に活用できます。例えば「日比谷公園ってどんな公園だろう」「関東大震災について知りたい」など、身近な問題や過去に起こった出来事なども調べることができます。今後、都市名を入力するだけで、その都市に関係のある資料を一気に探すことができる検索機能を追加するとのことです。



市政会館は日比谷公会堂と一体の建物で「景観まちづくり重要物件」にも指定されています。

世界銀行情報センター

- 対象 どなたでも
- 住所 内幸町2-2-2富国生命ビル1F
- 交通 内幸町駅A6出口直結
- 時間 10:00~18:00
- 休み 土・日・祝
- URL www.worldbank.org/ptokyo
- 閲覧 無料
- 貸出 応相談
- 資料 約200点
- 席数 12席
- 問合せ 03-3597-6650

(財)東京市政調査会 市政専門図書館

- 対象 どなたでも
- 住所 日比谷公園1-3市政会館1F
- 交通 内幸町駅A7出口より徒歩2分
- 時間 9:30~16:30
- 休み 土・日・祝、年末年始、2月24日(創立記念日)
- 閲覧 無料
- 貸出 無料(一部の資料のみ)
- 資料 約13万冊(開架1割・閉架9割)
- 雑誌 204誌
- 席数 18席
- 問合せ 03-3591-1264(直)
- URL www.timr.or.jp



世界銀行の最新書籍が閲覧できる情報センターです。4台の端末があり、通常は有料でアクセスする「世界開発指標」オンライン版が、ここでは無料で利用できます。所蔵資料点数は多くはありませんが、とても活用度の高い情報拠点です。途上国問題や開発課題について学べる「コーヒアワー」(コーヒー、日本手話付)は、仕事帰りの時間帯に、コーヒーを片手に気軽に参加できるユニークな企画が満載で、トークショーやライブなども行っています。詳しくは世界銀行東京事務所のHPをご覧ください。



森の図書館
Biblioteken Arboreo
作・小林エリカ KOBAYASHI Erika



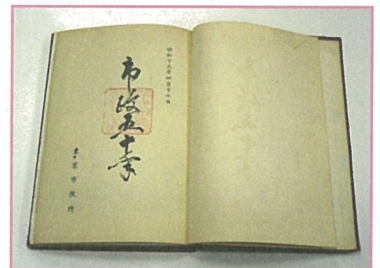
テキスト：芥川龍之介「蜘蛛の糸」より

お宝本紹介

千代田図書館の開架書庫にある貴重な資料をご紹介します。

『市政五十年』

東京市役所 昭和13年4月17日発行



千代田図書館の前身である駿河台図書館は、昭和25年(1950)まで東京市立の図書館であった。そのためか、当館の蔵書の中には東京市政に関する行政資料がある。『市政五十年』もそのうちの一冊である。

東京市は近代日本の地方自治の基本を定める法律、市制町村制が公布された明治21年(1888)に誕生する。五十周年を迎えた昭和13年(1938)、東京市によって作成されたのが本書である。前史である江戸時代からはじまり、東京市成立後五十年に至る間の東京市政について記述されている。江戸時代からの歴史的な変遷をたどり、市事業について述べられている点が特徴的である。

？ インフォメーション

お知らせ

●図書館で靴磨き！「千代田図書館で靴も自分も磨く～BOOTBLACK at Library～」は毎月第1月曜開催です。

靴磨きを通して、ピカピカに磨かれた靴と明日の自分に役立つ情報を入手してください。
図書館内に靴磨きカウンターを設け、プロの靴磨き職人が皆さんの靴を磨きます。脱いだ靴をカウンター上で磨くスタイルの靴磨きです。

参加方法 1

靴を預けて館内で
読書や調査・研究

参加方法 2

靴磨きの工程を見ながら
職人さんと会話



日時 …… 毎月第1月曜日 12:00～20:00受付終了
場所 …… 千代田図書館9階=展示ホール前特設カウンター
料金 …… 1足約20～30分
紳士靴 1,500円、婦人靴1,200円(税込)
※靴の種類・状態によっては料金が変わる場合があります。
参加方法 …… 当日、直接靴磨きカウンターへお越しください。

●オンライン音楽図書館「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」を導入しました。

千代田区立図書館の貸出券をお持ちの方は、どなたでもご利用になれます。クラシック音楽を中心とした約35万曲が視聴できます。「音楽中辞典」「人名発音ガイド」「オペラのシノプシス(粗筋)」などもご利用になれますので、音楽を聴くだけでなく、各種データベースとしてもご利用ください。

●千代田図書館10階にババママを応援する「子育て情報コーナー」と「児童資料関連コーナー」ができました。

子育て中の方や乳幼児をお連れの方、子どもと読書について感心のある方はぜひご利用ください。

【子育て情報コーナー】

場所=10F「子ども室」内
●乳幼児の育児に関する実用書、入門書
●しつけ、手芸、弁当、授乳・離乳食などに関する本
●雑誌「母の友」「すくすく子育て」「Como」「たまごクラブ」「ひよこクラブ」「ちいさい・おおきい・よわい・つよい」

【児童資料関連コーナー】

場所=10F「来客&会議スペース」脇
ストーリーテリング・読書指導(ブックトーク、アニメーション)・子どもと読書・子どもと絵本・伝承研究・絵本研究・おはなしのろうそく・児童文学研究・参考図書資料



●「ちよびたメール」にご登録ください。

興味のある分野・作家名などを登録すると、登録内容に合う新着図書情報や、イベント・セミナー情報がメールで届きます。ホームページ内の「ご利用状況照会」で、あなたにぴったりの条件をご登録ください。

ご利用案内

■千代田図書館

03-5211-4289・4290
開館時間 [月～金]10:00～22:00
[土]10:00～19:00
[日・祝・12/29～12/31]10:00～17:00
休館日 第4日曜日/1月1日～1月3日/特別整理期間

■四番町図書館

03-3239-6357
開館時間 [月～金]9:00～20:00
[土]9:00～19:00
[日・祝・12/29・30]9:00～17:00
休館日 第1日曜日/12月31日/1月1日～1月3日/特別整理期間

■昌平まちかど図書館

03-3251-5641
開館時間 [日～土]9:00～20:00
[12/29・30]9:00～17:00
休館日 第2日曜日/12月31日/
1月1日～1月3日/特別整理期間

■神田まちかど図書館

03-3256-6061
開館時間 [日～土]9:00～20:00
[12/29・30]9:00～17:00
休館日 第3日曜日/12月31日/
1月1日～1月3日/特別整理期間

■ちよだパークサイドプラザ区民図書室

03-3864-8931
開館時間 [日～土]9:00～19:00
[日・祝]9:00～17:00
休館日 第3日曜日/特別整理期間/年末年始

■千代田区男女共同参画センター MIW(ミュウ)情報ライブラリ

03-5211-8845
開館時間 [月～金]9:00～21:00
[土]9:00～17:00
休館日 日曜日/祝日/特別整理期間/年末年始

ご利用について

- 千代田区内在住・在勤を問わず、どなたでもご利用になれます。図書などを借りるには、「貸出券」が必要です。ご住所とお名前が確認できるもの(健康保険証、免許証、学生証など)をお持ちください。
- 「貸出券」は千代田区内のすべての区立図書館(室)で共通です。

貸出数(全館合計)

	区内在住者	区外在住者	予約がない場合に限り、貸出期間内に1回のみ1週間延長することができます。返却期限の当日までにご連絡ください。
図書/紙芝居/雑誌	10冊2週間	5冊2週間	
CD	3点2週間	3点2週間	
DVD/ビデオ	2点2週間	2点2週間	



さあ、図書館にいこう。

千代田区立千代田図書館

〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1 千代田区役所9・10F
TEL:03-5211-4289・4290

<http://www.library.chiyoda.tokyo.jp> <http://mobile.library.chiyoda.tokyo.jp>

アクセス 東京メトロ東西線・半蔵門線・都営新有線「九段下」駅下車4番または6番出口から徒歩5分



携帯に簡単アクセス

